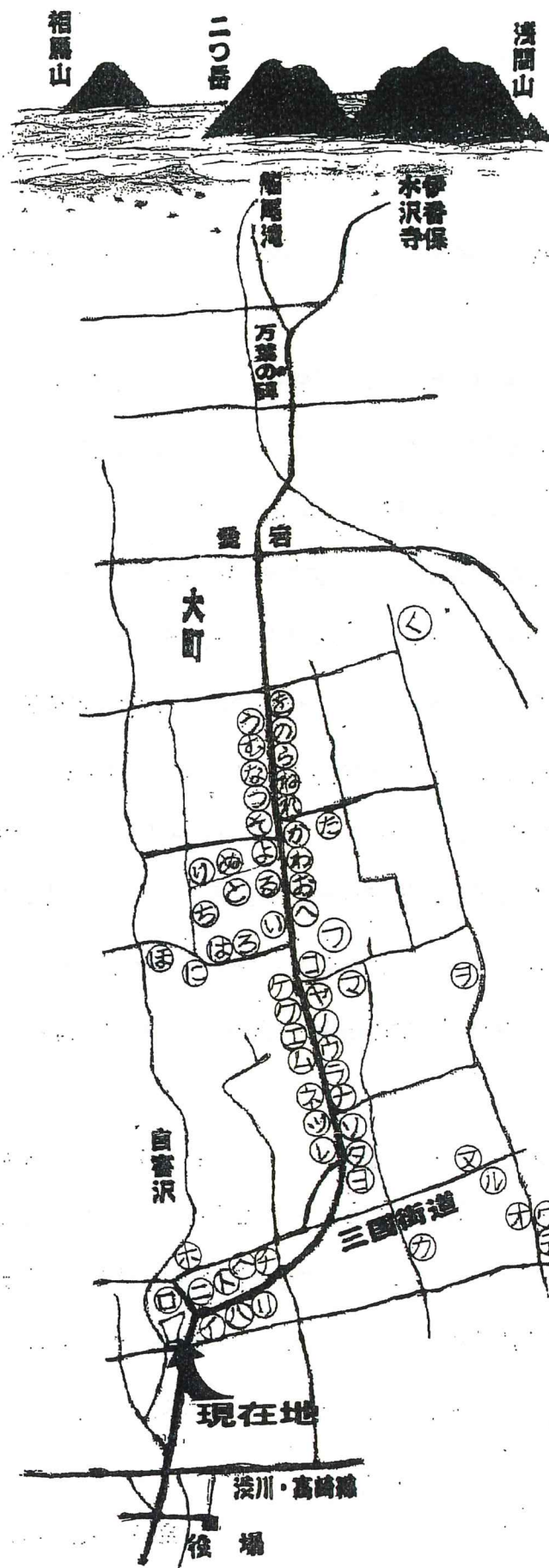




④原 沢 屋
 ⑦本 陣
 ③高 札 場
 ①上 の 舗
 ②上 の 店
 ⑤常 泉 寺
 ⑥集落センター
 ⑧まちなみ
 ⑨な か や
 ⑩斎木伊香保
 ⑪まめぐら
 ⑫横 町
 ⑬大成技研
 ⑭三 木 屋
 ⑮車 屋
 ⑯鰻 頭 屋
 ⑰か 今 上 宿
 ⑱よ 辻 上 宿
 ⑲た 森 上 宿
 ⑳れ 仲 屋
 ㉑そ 大 嶋
 ㉒つか じ や
 ㉓ね 栄 さん 車
 ㉔な 足袋屋本屋敷
 ㉕ら 半 上 宿
 ㉖む 柳 屋
 ㉗う か ね き 屋
 ㉘の 足 袋 屋
 ㉙を 天 辺 車
 ㉚く 瀧 泉 神社

①イ 茗 荷 屋
 ②ロ 前 屋 敷
 ③ハ 石 屋 朝 賀
 ④ニ 鉄 沓 屋
 ⑤ホ 町 南 朝 賀
 ⑥ヘ 新田善養寺
 ⑦ト 阜 萊 茶 屋
 ⑧チ 阜 萊 餅 屋
 ⑨リ 桶 屋 吉 田
 ⑩又 桃 井 館
 ⑪ル 桃 井 館 分 家
 ⑫オ そば 処 三 国
 ⑬ワ 一 町 田
 ⑭カ 長 嶋 板 金
 ⑮ヨ 下 宿 齊 木
 ⑯タ 油 屋
 ⑰レ 紬 屋
 ⑱ソ 駕 籠 屋
 ㉑ツ 下 宿 齊 木
 ㉒ネ 下 宿 森 田
 ㉓ナ 下 宿 嶋
 ㉔ラ 石 屋 長 籠
 ㉕ム 旅 喜
 ㉖ウ 野 田 喜
 ㉗エ 紺 屋
 ㉘ノ 中 屋
 ㉙ヲ ア ン ン フ ァ ーム
 ㉚ク か し 屋
 ㉛ヤ 万 年 青 屋
 ㉜マ 甘 酒 屋
 ㉝テ 野 田 喜 置 場

野田宿案内図

野田宿の由来

野田宿は、旧佐渡街道の駒寄小学校脇を起点とする伊香保街道の宿場であり、宿の始まりの付近で三国街道が交差している。

街道は、坂東三十三観音札所巡りの順路として、また伊香保への入湯の道として中世の頃から多くの旅人が往来していた。ここが宿場として発足したのは街道の整備が進んだ江戸初期の頃と云われている。

旅人のために設けられた野田宿は、森田家が本陣で宿場の中央に位置し、その上手を上町、下手を下町と呼び、さらに下手の新田は後になって宿に加えられた。宿場は、武家のための本陣をはじめ旅籠屋・問屋・雑貨屋・酒屋・穀屋・駕籠屋など多くの店が軒を並べ、学問所や芝居小屋まであった。これらの名残は、宿場制度がなくなつて一世紀以上たった今日でも屋号として残されている。

東西に延びる宿通りの北側を町裏、南側を町南と呼び、往還に沿つて流れる用水堰は水量が豊富で、米麦の搗き挽きに車屋と呼ばれる水車が四ヶ所程仕付けられていた。用水は他にも灌漑・防火・雑用水・牛馬の飲み水など幅広く利用された。

通りに建ち並ぶ家並みの外には幅二メートル程の通り（夜盗道）が作られ、それにも用水路があり、合計三筋の道や水路があつた。通りには、土砂の流失を防ぐためカメバラ（石を平らに並べた亀の腹面様の土留め）が作られていた。

繁栄していた野田宿も幕末から明治にかけての世の移り変わりと共に旅の形態も変わり、しだいに宿場も寂れやがてその役割を終えることになったのである。

平成十八年設立

上野田南町まちおこしの会